



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

第29回手塚治虫文化賞「マンガ大賞」最終候補 2月20日に発表

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:角田克)が主催する第29回手塚治虫文化賞の「マンガ大賞」最終候補作品を、2月20日(木)付の朝日新聞朝刊、デジタル版、プレスリリース等で発表します。

選考対象は2024年に刊行・発表されたマンガ作品です。最終候補作品は一般、マンガ関係者、書店員からの推薦を参考に、選考委員の投票などで決まります。

受賞作品は、最終選考委員会を経て4月下旬ごろ、新生賞、短編賞、特別賞と共に発表します。

※なお、紙面事情などにより発表が遅れる場合があります。



©手塚プロダクション
主催:朝日新聞社

◆第29回選考委員

秋本治さん(漫画家)、里中満智子さん(マンガ家)、高橋みなみさん(タレント)、中条省平さん(学習院大学フランス語圏文化学科教授)、トミヤマユキコさん(ライター・東北芸術工科大学芸術学部准教授)、南信長さん(マンガ解説者)、矢部太郎さん(芸人・漫画家)の7名、社内から坂尻顕吾(執行役員・編集担当)と渡部薫(東京本社文化部長)の2名です。

◆手塚治虫文化賞

日本のマンガ文化の発展、向上に大きな役割を果たした手塚治虫氏の業績を記念し、志を継いでマンガ文化の健全な発展に寄与することを目的に、手塚プロダクションのご協力を得て朝日新聞社が1997年に創設しました。マンガ大賞のほか、新生賞、短編賞、特別賞があり、鉄腕アトム像(横山宏氏作)=写真=と賞金が贈られます。

〈公式サイト〉 <https://www.asahi.com/corporate/award/tezuka/>

【マンガ大賞】年間を通じて最も優れた作品

【新生賞】斬新な表現、画期的なテーマなど清新な才能の作者

【短編賞】短編、4コマ、1コマなどを対象に作品・作者

【特別賞】マンガ文化の発展に寄与した個人・団体



>

contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 広報・ブランド推進部

TEL 03-5540-7617 FAX 03-3541-8999

E-mail tezukaprize@asahi.com



press release

2025年2月18日

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

【これまでのマンガ大賞受賞作品】

- ◆第1回(1997年)『ドラえもん』藤子・F・不二雄(小学館)
- ◆第2回(1998年)『「坊っちゃん」の時代』関川夏央/谷口ジロー(双葉社)
- ◆第3回(1999年)『MONSTER』浦沢直樹(小学館)
- ◆第4回(2000年)『西遊妖猿伝』諸星大二郎(潮出版社)
- ◆第5回(2001年)『陰陽師』岡野玲子 原作:夢枕獏(白泉社)
- ◆第6回(2002年)『バガボンド』井上雄彦 原作:吉川英治『宮本武蔵』(講談社)
- ◆第7回(2003年)『黄色い本 ジャック・チボーという名の友人』高野文子(講談社)
- ◆第8回(2004年)『ヘルタースケルター』岡崎京子(祥伝社)
- ◆第9回(2005年)『PLUTO(プルートウ)』浦沢直樹/手塚治虫
プロデュース:長崎尚志 監修:手塚眞 協力:手塚プロダクション (小学館)
- ◆第10回(2006年)『失踪日記』吾妻ひでお(イースト・プレス)
- ◆第11回(2007年)『舞姫 テレプシコーラ』山岸涼子(メディアファクトリー)
- ◆第12回(2008年)『もやしもん』石川雅之(講談社)
- ◆第13回(2009年)『大奥』よしながふみ(白泉社)
『劇画漂流』辰巳ヨシヒロ(青林工藝舎)
- ◆第14回(2010年)『へうげもの』山田芳裕(講談社)
- ◆第15回(2011年)『JIN-仁-』村上もとか(集英社)
『竹光侍』松本大洋 作:永福一成(小学館)
- ◆第16回(2012年)『ヒストリエ』岩明均(講談社)
- ◆第17回(2013年)『キングダム』原泰久(集英社)
- ◆第18回(2014年)『3月のライオン』羽海野チカ(白泉社)
- ◆第19回(2015年)『逢沢りく』ほしよりこ(文藝春秋)
- ◆第20回(2016年)『鼻紙写楽』一ノ関圭(小学館)
『よつばと!』あずまきよひこ(KADOKAWA/アスキー・メディアワークス)
- ◆第21回(2017年)『花に染む』くらもちふさこ(集英社)
- ◆第22回(2018年)『ゴールデンカムイ』野田サトル(集英社)
- ◆第23回(2019年)『その女、ジルバ』有間しのぶ(小学館)
- ◆第24回(2020年)『ニクスの角灯』高浜寛(リイド社)
- ◆第25回(2021年)『ランド』山下和美(講談社)
- ◆第26回(2022年)『チ。-地球の運動について-』魚豊(小学館)
- ◆第27回(2023年)『ゆりあ先生の赤い糸』入江喜和(講談社)
- ◆第28回(2024年)『プリニウス』ヤマザキマリ とり・みき(新潮社)

>

contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 広報・ブランド推進部

TEL 03-5540-7617 FAX 03-3541-8999

E-mail tezukaprize@asahi.com